

F SPORT PARTS (TRD)**MS343-48001/2/3
リヤディフューザー****取付・取扱要領書**

この度はF SPORT PARTS (TRD) リヤディフューザーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	型 式	年 式	備 考
MS343-48001-A0	ホワイトノグアガラスレーク(083)	レクサス RX	AGL20W AGL25W GYL20W GYL25W	'19.8~	
MS343-48001-C0	ブラック (212)				
MS343-48001-C1	グレアイトブラックガラスレーク (223)				
MS343-48002-NP	未塗装品 (プライマー処理品)				
MS343-48003	共通品 (212)				

※TRD エアロフェンダー (MS315-48003/4/5) を同時装着する場合は、先にエアロフェンダーを取付けてください。

※車両からリヤバンパーを取外す際は、20/20 ページで固定している結束バンドを取外してください。

- ・ 本商品は TRD マフラー専用部品です。本商品単体での取付けは出来ません。
- ・ TRD マフラーの取付けは本商品取付け後に行ってください。
- ・ 最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp>

■ 構成部品

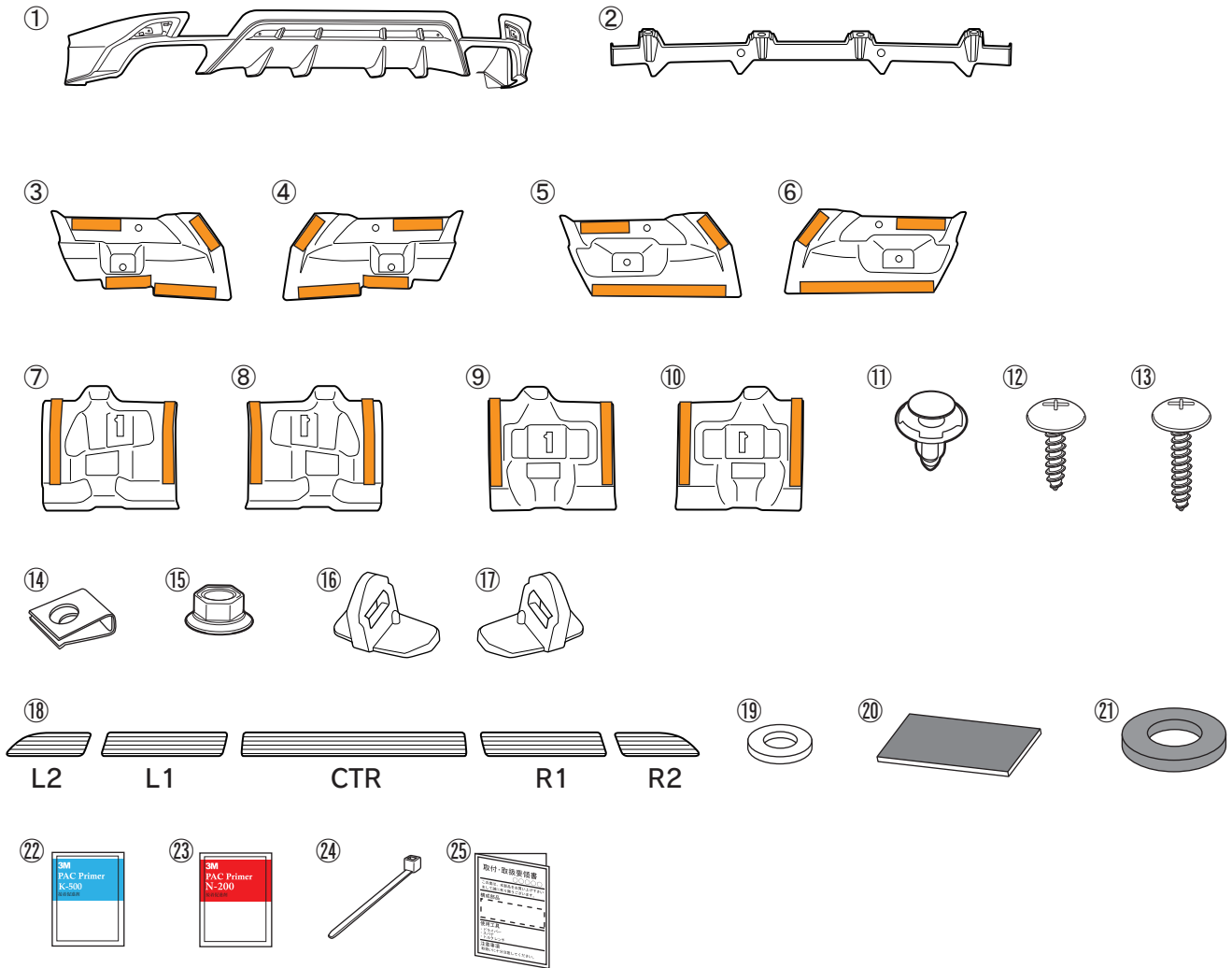
No.	部 品 名	品 番	数 量	備 考
①	リヤディフューザー		1	
②	バンパーブラケット		1	
③	ブラケット A RH (HV)		1	ハイブリッド車用
④	ブラケット A LH (HV)		1	ハイブリッド車用
⑤	ブラケット A RH (STD)		1	ガソリン車用
⑥	ブラケット A LH (STD)		1	ガソリン車用
⑦	ブラケット B RH (HV)		1	ハイブリッド車用
⑧	ブラケット B LH (HV)		1	ハイブリッド車用
⑨	ブラケット B RH (STD)		1	ガソリン車用
⑩	ブラケット B LH (STD)		1	ガソリン車用
⑪	クリップ		6	
⑫	タッピングスクリュー A		2	M5×14 黒
⑬	タッピングスクリュー B		2	M5×20 銀
⑭	Jナット		4	M5
⑮	フランジナット		2	M6
⑯	バンパークリップベース RH		1	
⑰	バンパークリップベース LH		1	
⑱	プレート CTR/R1/R2/L1/L2		各1	
⑲	ワッシャー		2	
⑳	クッション		1	
㉑	ゴムワッシャー		4	
㉒	PAC プライマー (赤袋)		1	N-200
㉓	PAC プライマー (青袋)		1	K-500
㉔	結束バンド		2	
㉕	取付・取扱要領書		1	本書

以下、MS343-48002-NP（未塗装品セット）のみに同梱

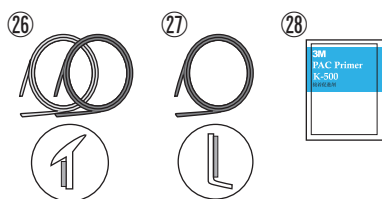
No.	部 品 名	品 番	数 量	備 考
㉖	モール（イ型）		各1	黒：L=3060mm/ライトグレー：L=1530mm
㉗	モール（L型）		1	黒：L=400mm
㉘	PAC プライマー（青袋）		1	K-500

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

構成部品図



以下、MS343-48002-NP（未塗装品セット）のみに同梱



モール②推奨使用色

塗装色（色記号）	モール色
ホワイト/クリアガラスフレック（083）	ライトグレー
ソニックオーツ（085）	ライトグレー
マキエリグレイマイカ（1H9）	ブラック
ソニックチタニウム（1J7）	ブラック
ソニッククロム（1L1）	ブラック
ソニックイリジウム（1L2）	ブラック
ブラック（212）	ブラック
グライフトブラックガラスフレック（223）	ブラック
レッドマイカクリスタルシャイン（3R1）	ブラック
アンバークリスタルシャイン（4X2）	ブラック
アイスクリュマイカメタリック（4X8）	ライトグレー
レーンカーキマイカメタリック（6X4）	ブラック
ヒートブルーコントラストレイリング（8X1）	ブラック
ディープブルーマイカ（8X5）	ブラック

取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊖ やってはいけないこと

❗ 必ず行っていたくこと

⚠ 警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)を使用して確実な脱脂を行なってください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足しないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N (5Kgf) 以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が不足しないと両面テープが剥がれます。
- ⊖ 本商品の取付け24時間は、洗車や水（水拭き含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業時にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1～3
2. 取付け上のご注意（取付け作業の方へ） 4
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 5
4. 取付け要項 6～20
5. 取付け完了後の点検、注意事項 20

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具・プラスドライバー・クリップリムーバー
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・ケガキ針・ヤスリ・保護メガネ
- ・ 電動ドリル（刃：3.0mm/6.0mm/10.0mm）
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ ホホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

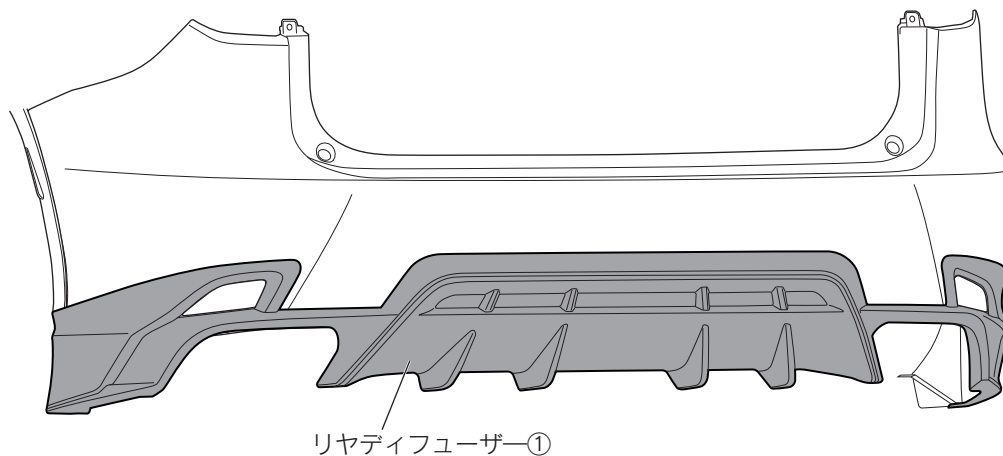
■ 本商品は、3年・60,000Kmの保証を実施致します。

（3年または60,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



塗装済み品の取付けは、9ページ【リヤディフューザー取付準備】に進み作業を行なってください。

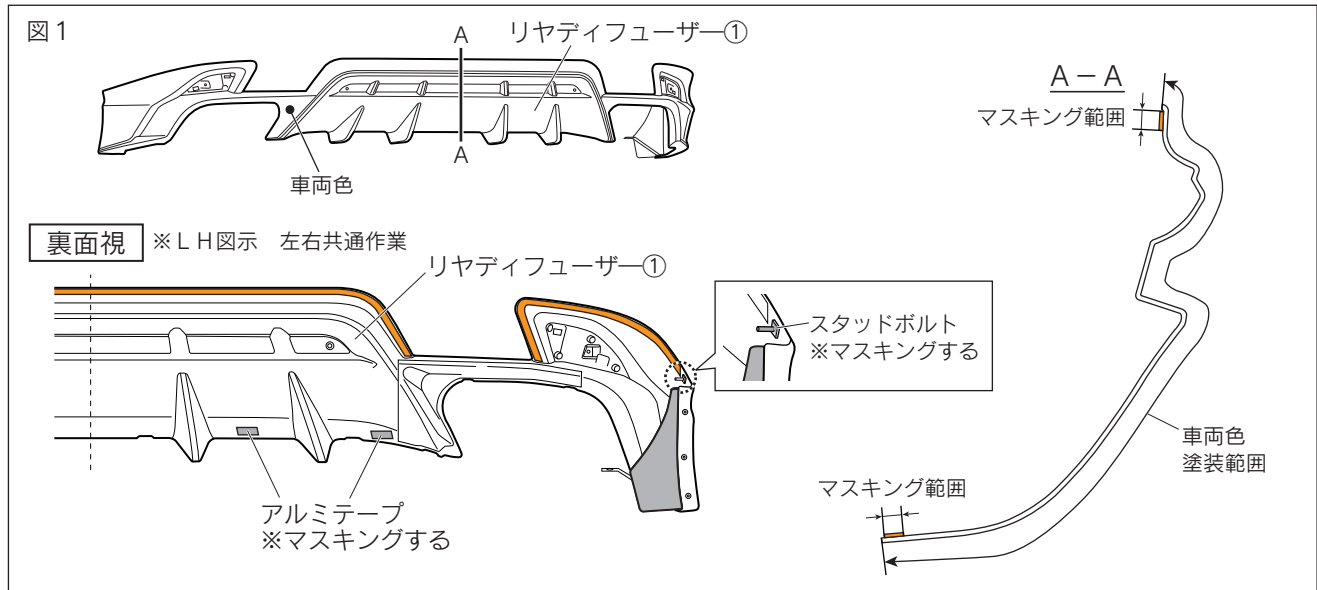
■未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MS343-48002-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、主にL H側を示しており、R H側も同様に行ってください。

□リヤディフューザーの塗装

1. 図1のようにリヤディフューザー①を車両色で塗装する。



△注意:乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

△警告:両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意:脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール(以下IPAという)又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶けるおそれがあります。

2. 図2のようにリヤディフューザー①にマスキングし、艶消し黒（グロス10相当）で塗装する。

図2 ※LH図示 左右共通作業

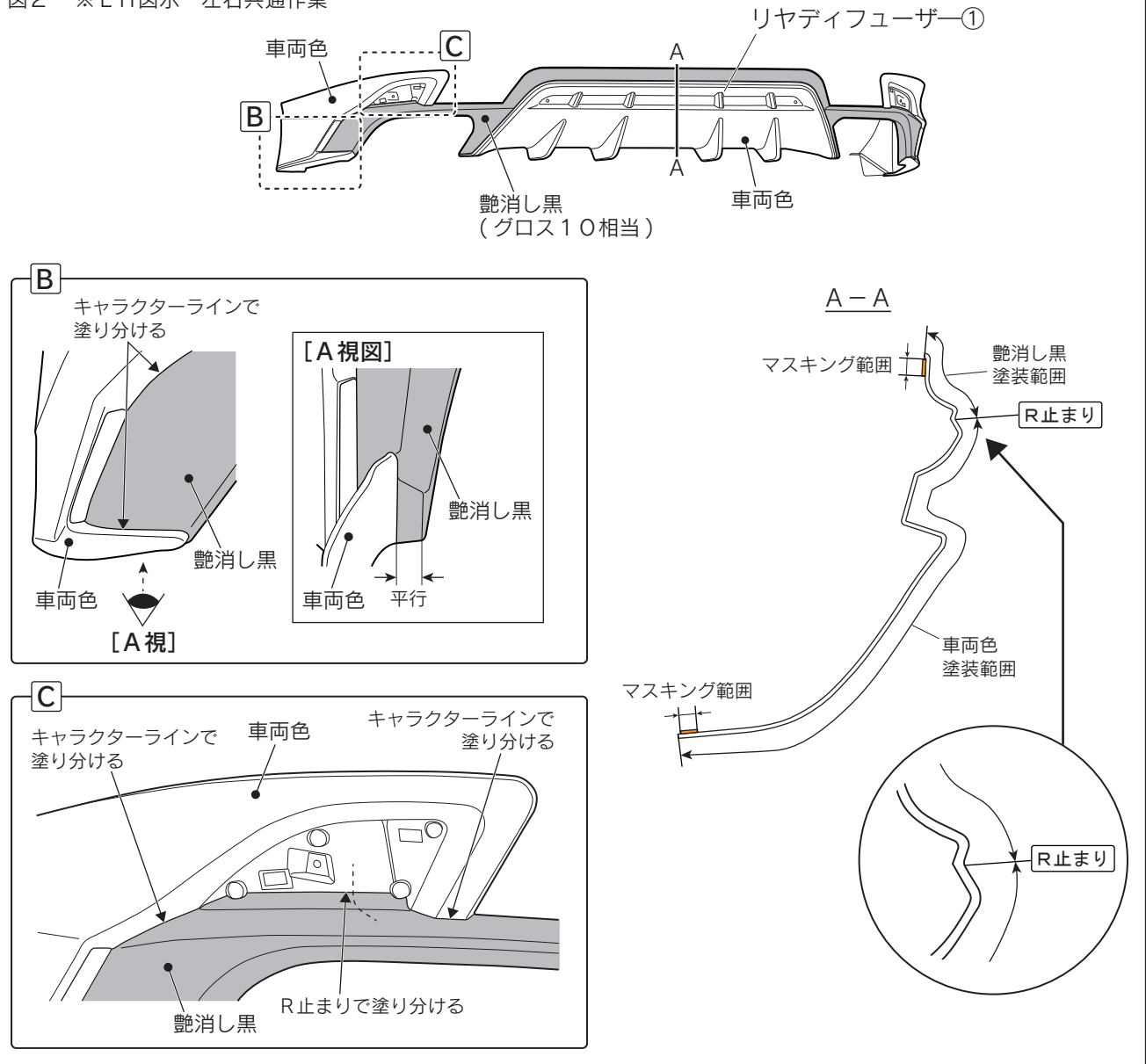
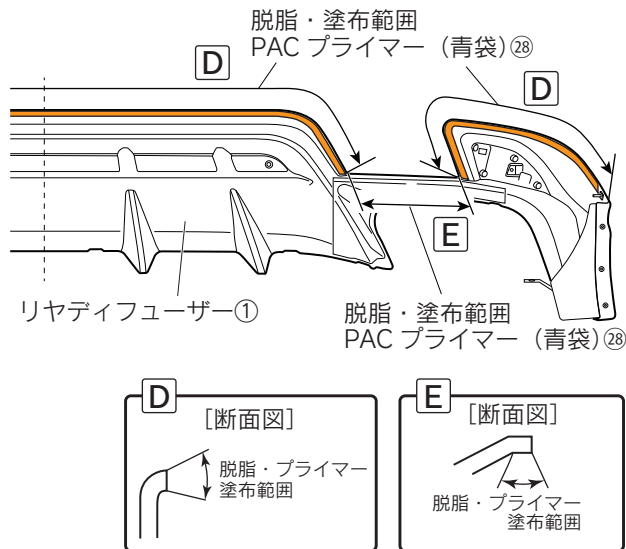


図3 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



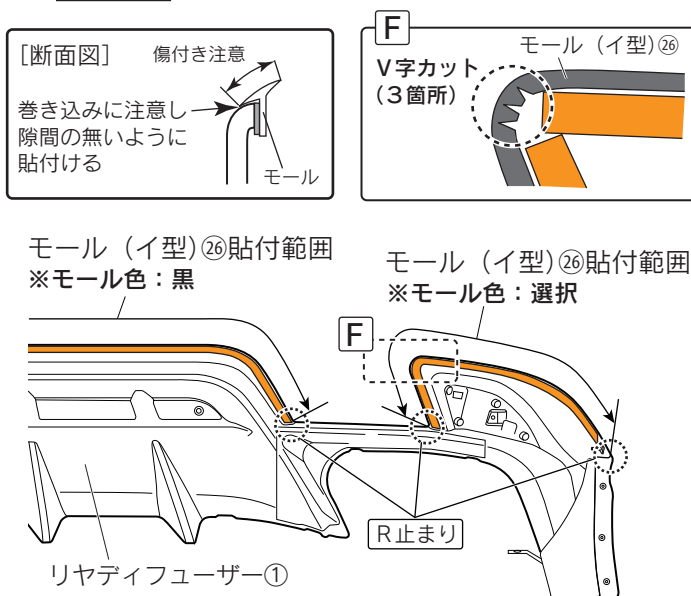
□モールの貼付け

- 図3のようにモール②⑦貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみ PAC プライマー (青袋) ⑳を塗布する。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

🔥 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

図4 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

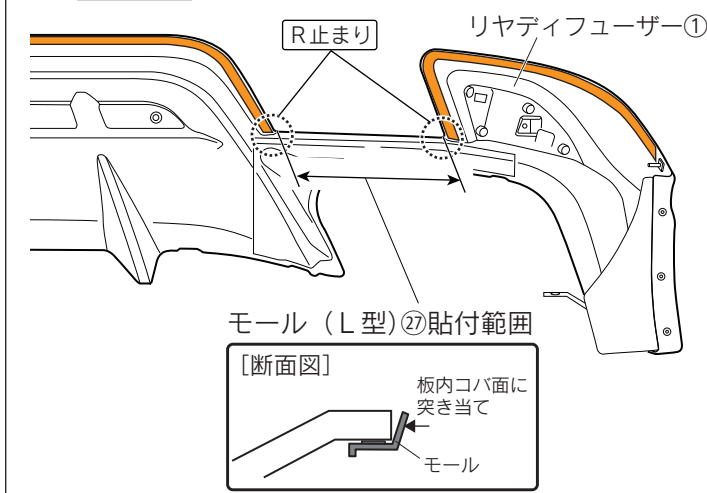


- 図4のようにリヤディフューザー①にモール (イ型) ②⑥の両面テープの離型紙を剥がしながら貼付け圧着する。モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意：モール (イ型) は、二色同梱されています。塗装色に合わせてモール色を選択し貼付けてください。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

図5 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



- 図5のようにリヤディフューザー①にモール (L型) ②⑦の両面テープの離型紙を剥がしながら貼付け圧着する。モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

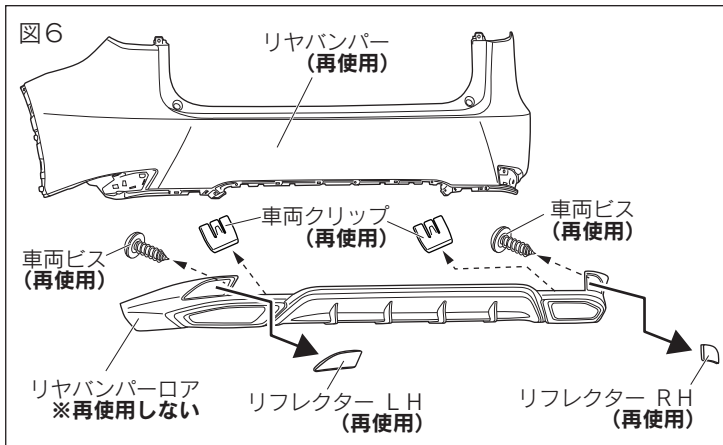
△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

※TRD エアロフェンダー (MS315-48003/4/5) を同時装着する場合は、先にエアロフェンダーを取付けてください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

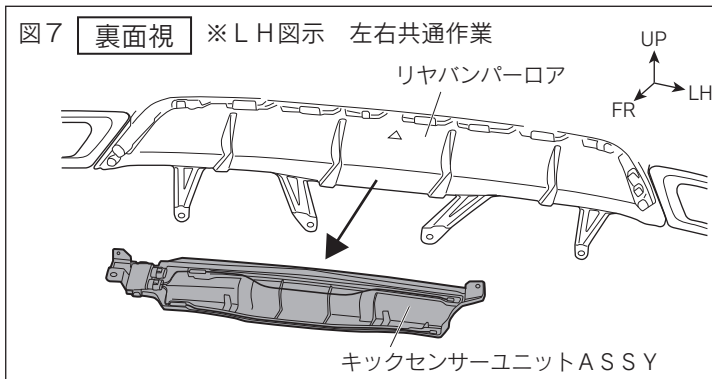
□リヤディフューザー取付準備

1. バッテリーのマイナス端子を取外す。
2. 該当車両の修理書に従い、マフラーを取外す。



3. 図6のように該当車両の修理書に従い、車両からリヤバンパー及びリヤアンダーカバーを取外し、リヤバンパーからリフレクター、リヤバンパーロアを取外す。
※取外したリヤバンパーロアは再使用しません。

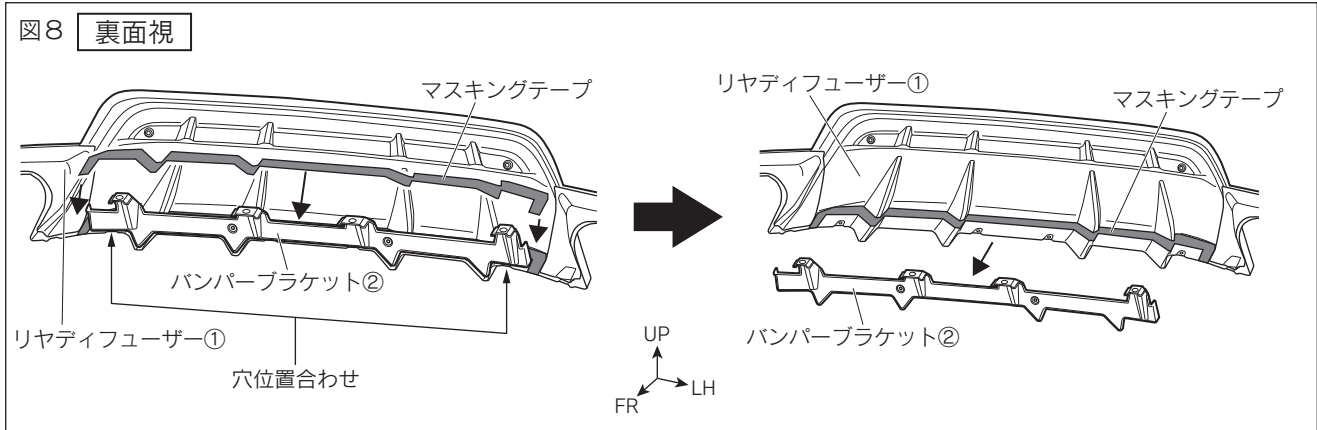
△注意：取外したリフレクター、車両スクリー、クリップ類は再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。



4. 図7のように該当車両の修理書に従い、リヤバンパーロアからキックセンサーユニットASSYを取外す。

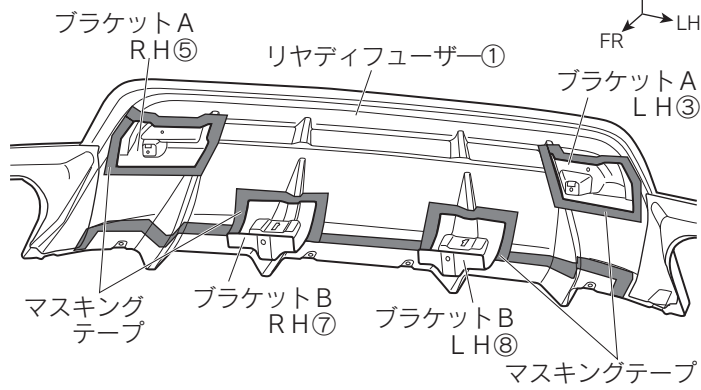
△注意：取外した車両部品、車両スクリー、クリップ類は再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

5. 図8のようにリヤディフューザー①裏面に、バンパーブラケット②をあて、下面左右の穴位置を合わせ、端末に合わせてマスキングテープを貼付ける。
6. バンパーブラケット②を取外す。



△注意：PAC プライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

図9 裏面視 ※図はガソリン車 HV車同様



7. 図9のようにリヤディフューザー①裏面にブラケットA③④(⑤⑥)、ブラケットB⑦⑧(⑨⑩)を形状に合わせて押し当て、各ブラケット端末に合わせてマスキングテープを貼付ける。

△注意：作業前にブラケット記載の下記識別を確認し、該当品を使用してください。

- ・ガソリン車=[STD]
- ・ハイブリッド車=[HV]

8. ブラケットA③④(⑤⑥)、ブラケットB⑦⑧(⑨⑩)を取外す。

9. 図10のように貼付けたマスキングテープの図示部を剥がす。(2箇所)

図10 裏面視 ※図はガソリン車 HV車同様

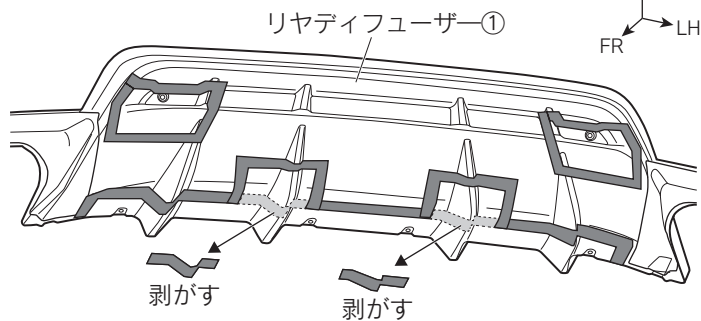
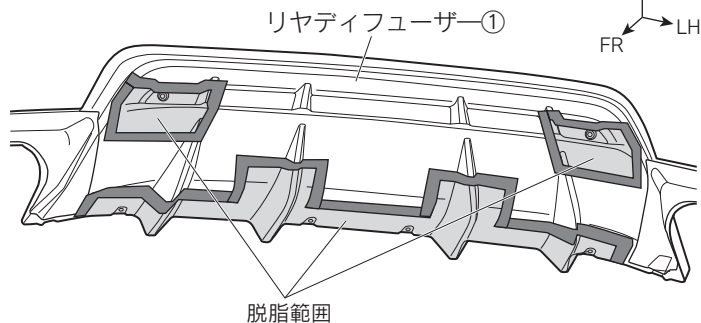


図11 裏面視 ※図はガソリン車 HV車同様

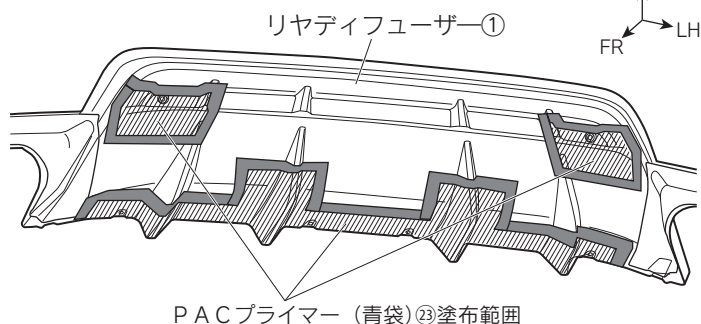


10. 図11のように各ブラケットの両面テープ貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図12 裏面視 ※図はガソリン車 HV車同様

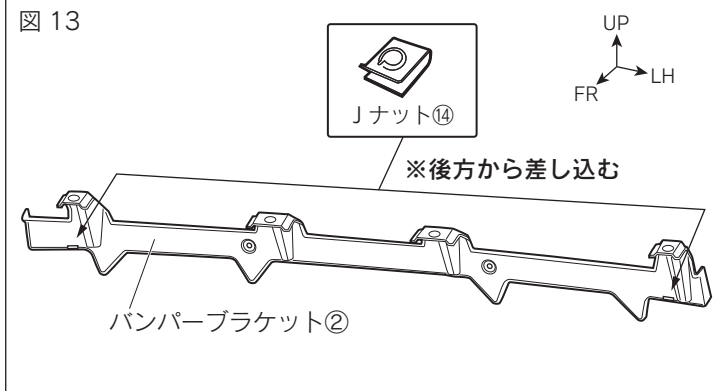


11. 図12のように各ブラケットの両面テープ貼付け部の両面テープ貼付け部(左図斜線部)にPACプライマー(青袋)②を塗布する。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

12. マスキングテープを剥がす。

図 13



13. 図 13 のようにバンパーブラケット②に J ナット⑭を取付ける。(2箇所)

△注意：J ナットの向きに注意して取付けてください。

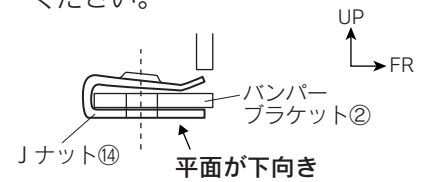
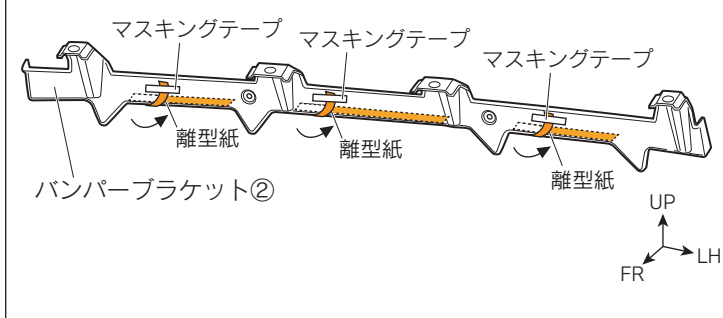


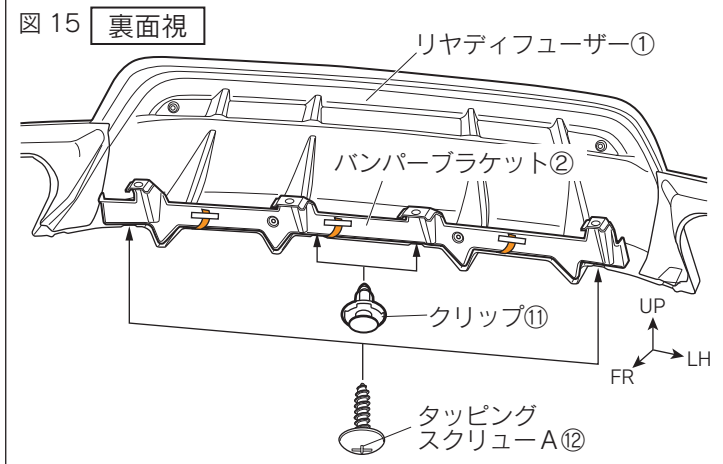
図 14



14. 図 14 のようにバンパーブラケット②下面の両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で貼付ける。(3箇所)

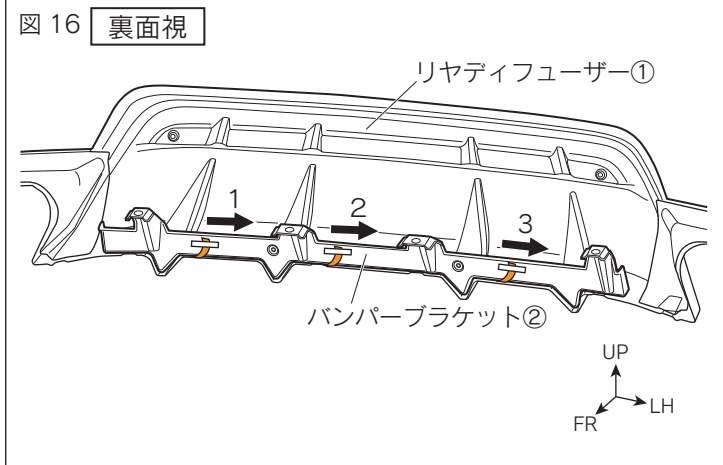
△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約 40℃ 程度に温めてください。

図 15 裏面視



15. 図 15 のようにリヤディフューザー①裏面に、バンパーブラケット②をあて、下面中央をクリップ⑪で固定し (2箇所)、左右をタッピングスクリュー A⑫で仮締めする。(2箇所)

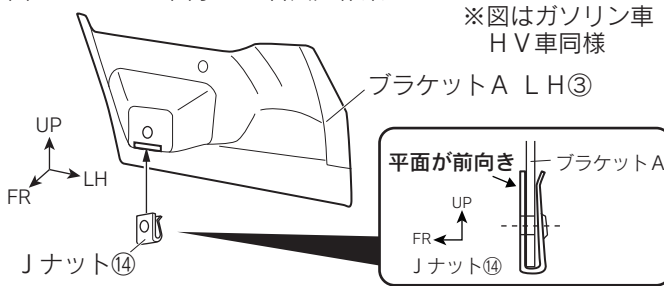
図 16 裏面視



16. 図 16 のように形状に合わせて押し当てながら位置決めし、両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着し、タッピングスクリュー A⑫を本締めする。(2箇所)

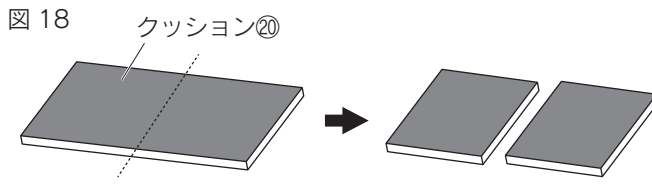
△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

図 17 ※ L H 図示 左右共通作業



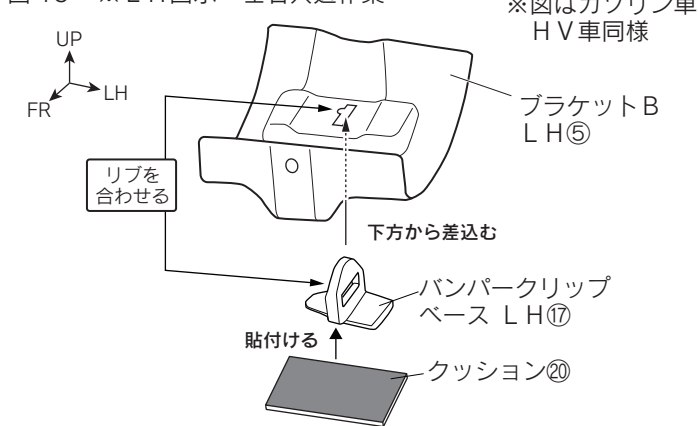
17. 図 17 のようにブラケット A ③⑤(④⑥) に J ナット⑭を取付ける。
(左右各 1 箇所)

図 18



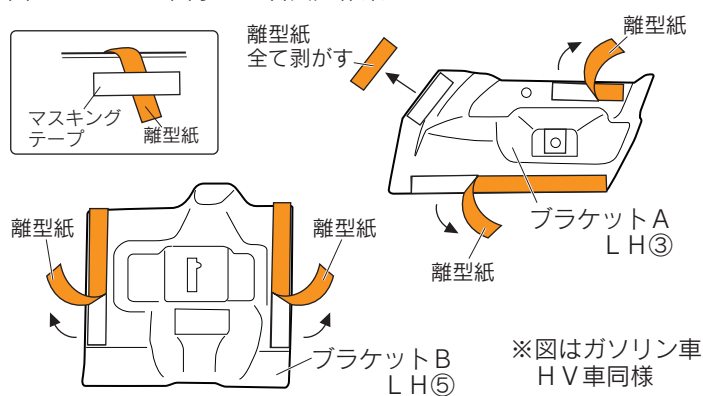
18. 図 18 のようにクッション⑳を半分に切り分ける。

図 19 ※ L H 図示 左右共通作業



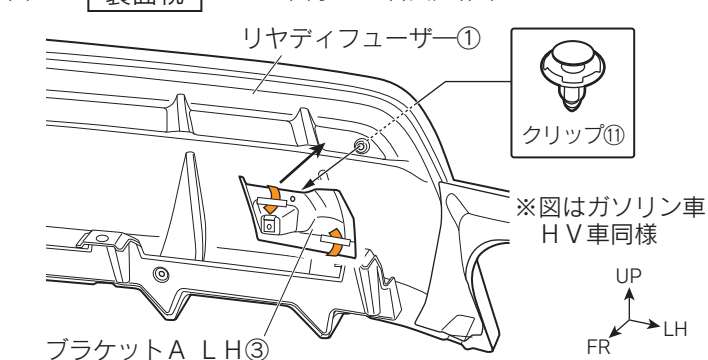
19. 図 19 のようにブラケット B ⑦⑨(⑧ ⑩) にバンパークリップベース⑯⑰を取付け、下面からクッション⑳を貼付ける。
(左右各 1 箇所)

図 20 ※ L H 図示 左右共通作業



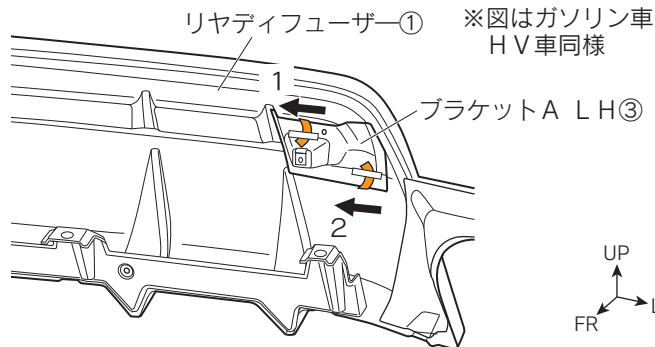
20. 図 20 のようにブラケット A ③⑤(④⑥)、ブラケット B ⑦⑨(⑧ ⑩) の両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で貼付ける。

図 21 裏面視 ※ L H 図示 左右共通作業



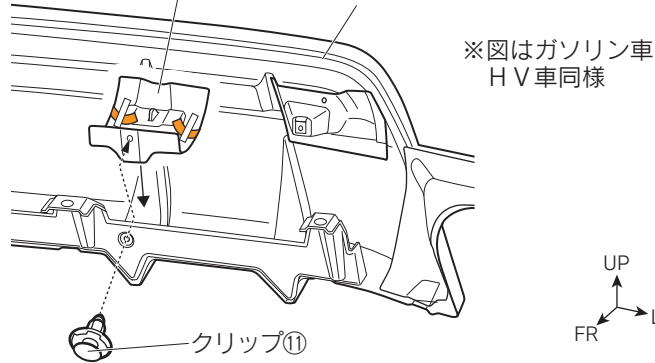
21. 図 21 のようにリヤディフューザー①にブラケット A ③⑤(④⑥) をあて、クリップ⑪を取付ける。(左右各 1 箇所)

図 22 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



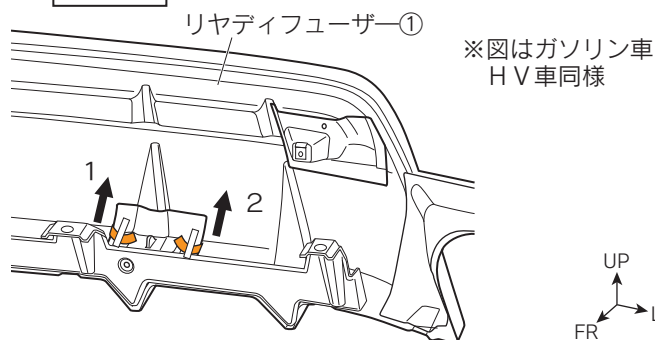
22. 図 22 のように取付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら圧着する。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

図 23 裏面視 ※LH図示 左右共通作業
ブラケットB LH⑦ リヤディフューザー①

23. 図 23 のようにリヤディフューザー①にブラケットB⑦⑨(⑧⑩)をあて、クリップ⑪を取付ける。(左右各 1 箇所)

図 24 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



24. 図 24 のように取付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら圧着する。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。



アドバイス

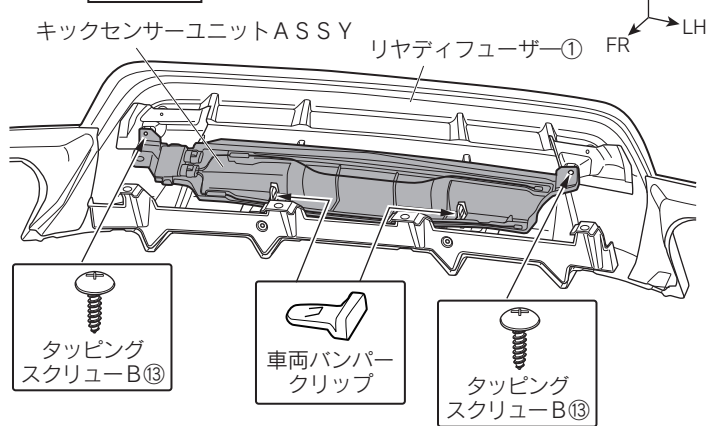
両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）をお取りください。



警告

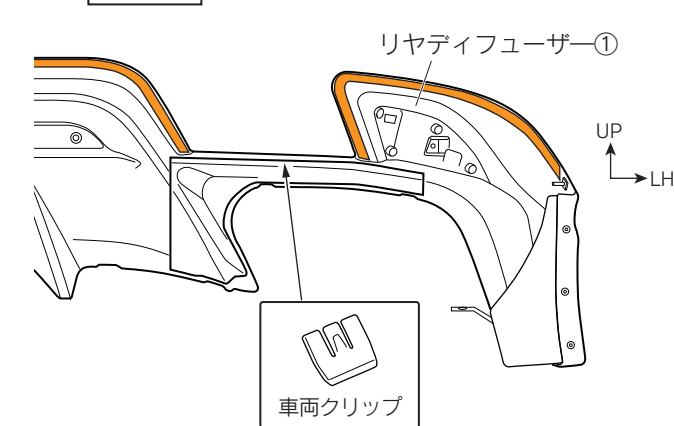
両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

図 25 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



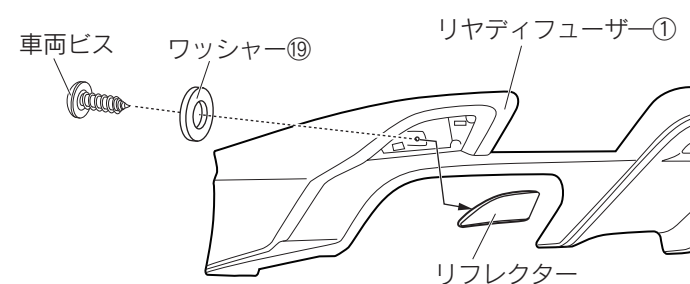
25. 図 25 のようにリヤディフューザー①にキックセンサーユニットASSYをあて、タッピングスクリューB13、車両バンパークリップで固定する。

図 26 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



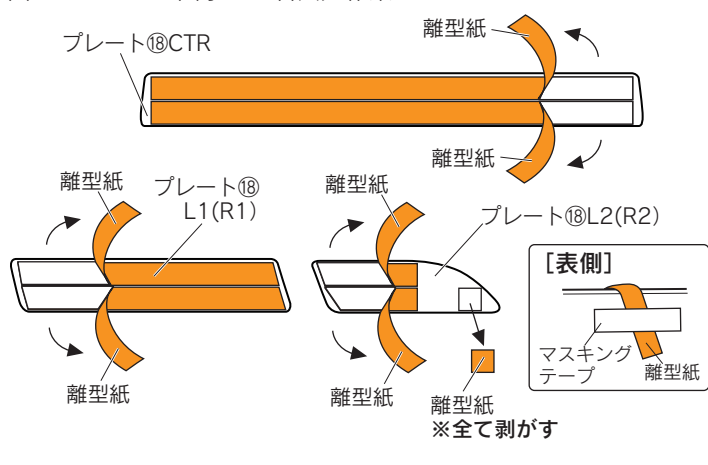
26. 図 26 のようにリヤディフューザー①に車両クリップを取付ける。
(左右各 1 箇所)

図 27 ※LH図示 左右共通作業



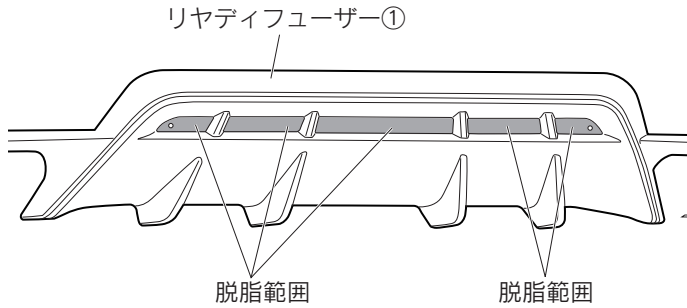
27. 図 27 のようにリヤディフューザー①にリフレクターを車両ビス、ワッシャー⑱で固定する。(左右各 1 箇所)

図 28 ※LH図示 左右共通作業



28. 図 28 のようにプレート⑱(5 個) の両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

図 29

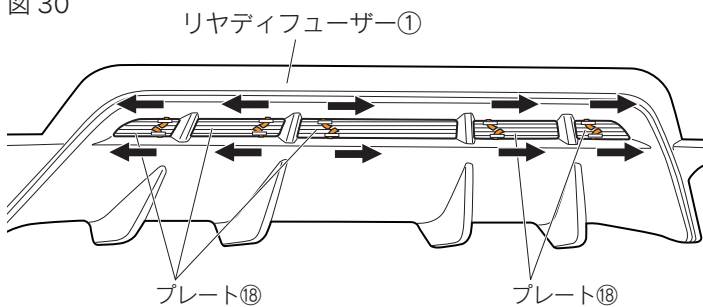


29. 図 29 のようにプレート⑱の両面テープ貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

△ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図 30



貼付け順：CTR→R1、L1→R2、L2
※中央から外側の順で貼付ける。



30. 図 30 のようにリヤディフューザー①にプレート⑱(5 個)をあて、リヤディフューザーの穴にボス(突起)を差し込み、取付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら圧着する。

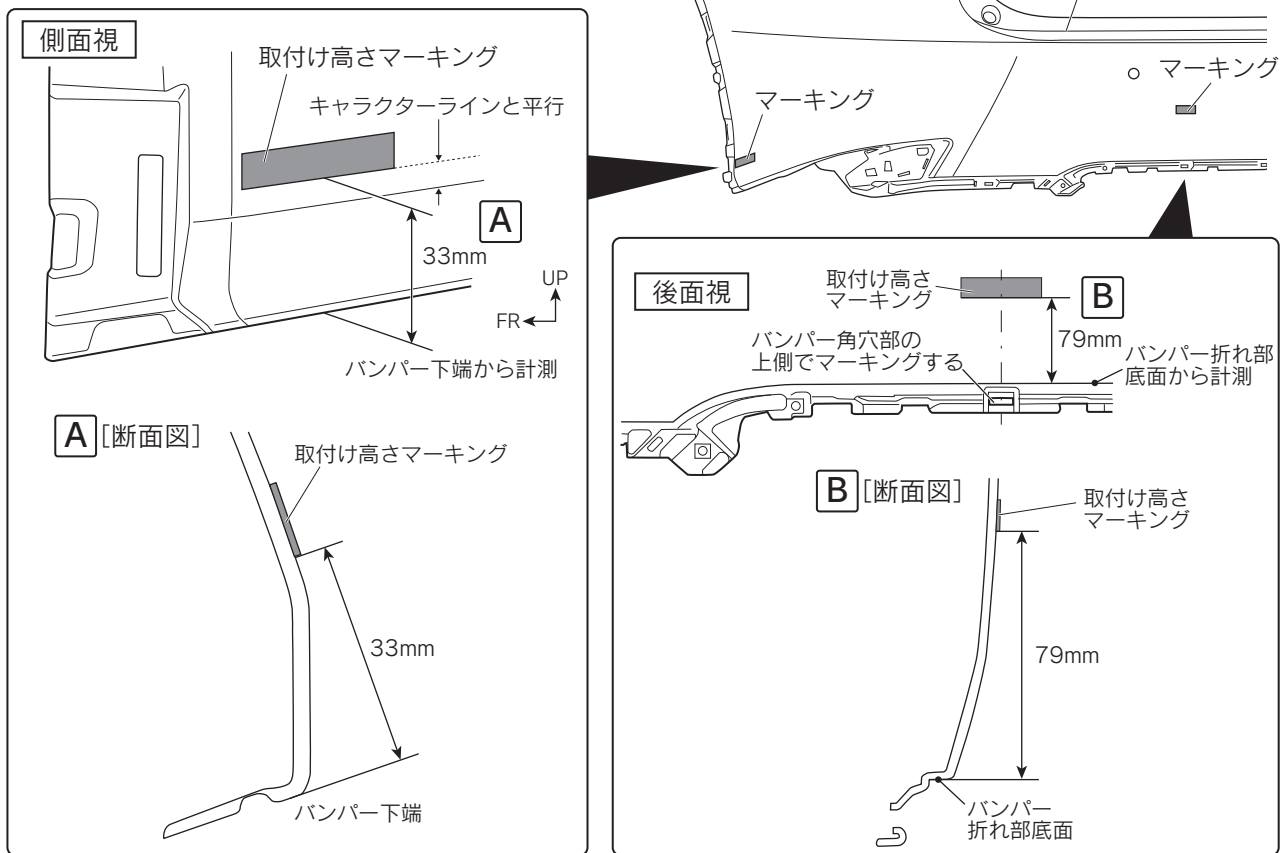
△ 注意：プレート周囲が取付け凹部と周囲一定隙且つ、各プレートの高さを合わせて位置決めしてください。

👉 アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

⚠ 警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

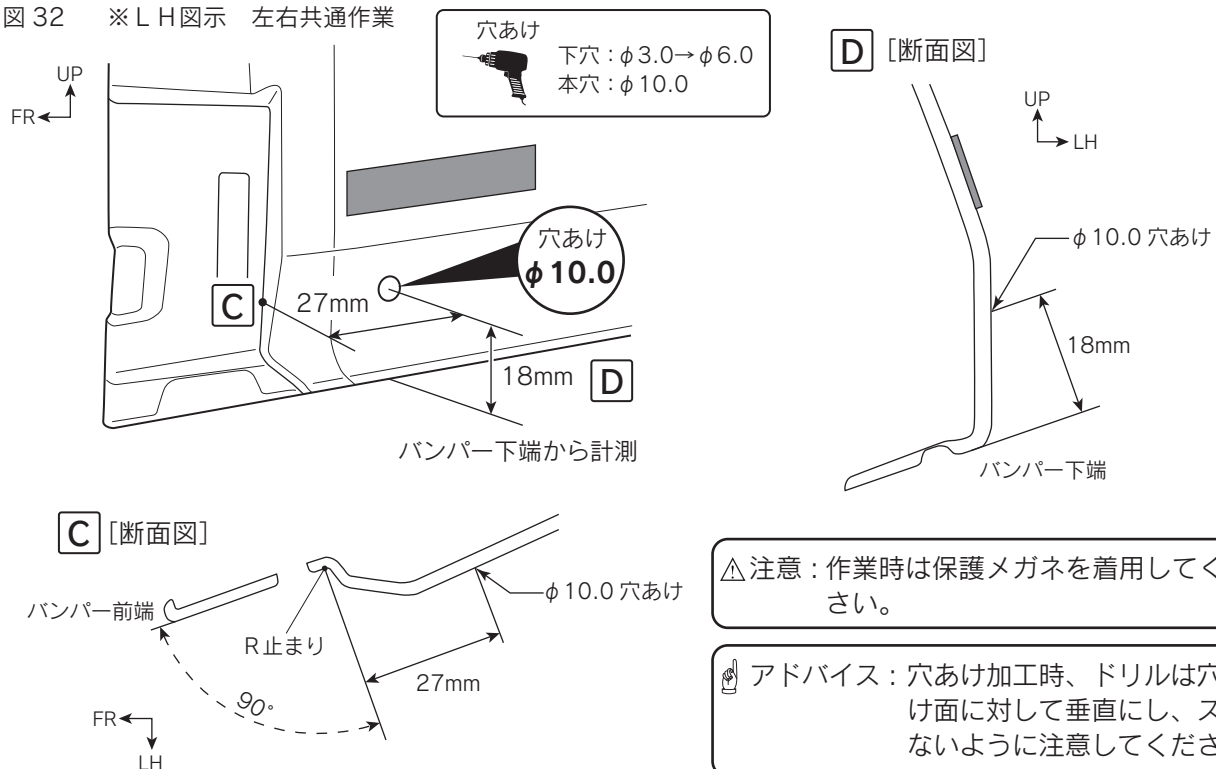
31. 図 31 のようにリヤバンパー側面及び後面を図示寸法で計測し、マスキングテープ等で取付け高さをマーキングする。(左右各 1箇所)

図 31 ※ LH 図示 左右共通作業



32. 図 32 のようにリヤバンパー側面を図示寸法で計測し、下穴を $\phi 3.0 \rightarrow \phi 6.0$ の順であけ、 $\phi 10.0$ の本穴をあける。(左右各 1箇所)

図 32 ※ LH 図示 左右共通作業



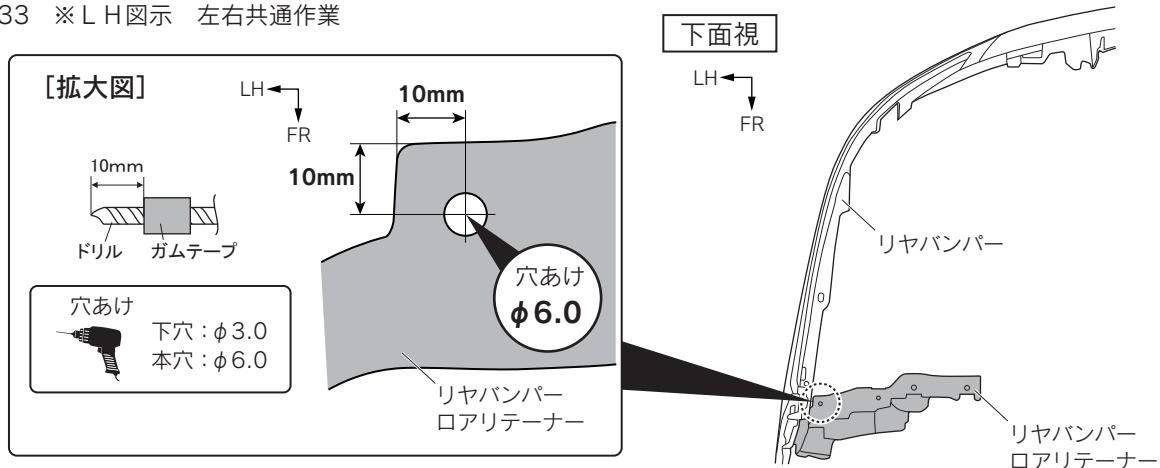
△ 注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

👉 アドバイス: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、ズレないように注意してください。

33. 穴周囲のバリを除去する。

34. 図 33 のようにリヤホイールハウス部のリヤバンパーロアリテーナーを図示寸法で計測し、下穴を $\phi 3.0$ であけ、 $\phi 6.0$ の本穴をあける。(左右各 1 箇所)

図 33 ※LH 図示 左右共通作業



35. 穴周囲のバリを除去する。

36. 該当車両の修理書に従い、リヤバンパーを車両に復元する。

※本取付・取扱要領書は、主に LH 側を示しており、RH 側も同様に行ってください。

□リヤディフューザー取付要領

1. 図 34 のように取付け高さマーキングに合わせ、リヤディフューザー①をあて、側面をフランジナット⑮(左右各 1 箇所)、下面中央 (車両ブラケット下面) にゴムワッシャー⑳(4 箇所)を貼付け、車両タッピングスクリュー (左右各 1 箇所)、車両クリップ (4 箇所) で仮固定する。

図 34 ※LH 図示 左右共通作業

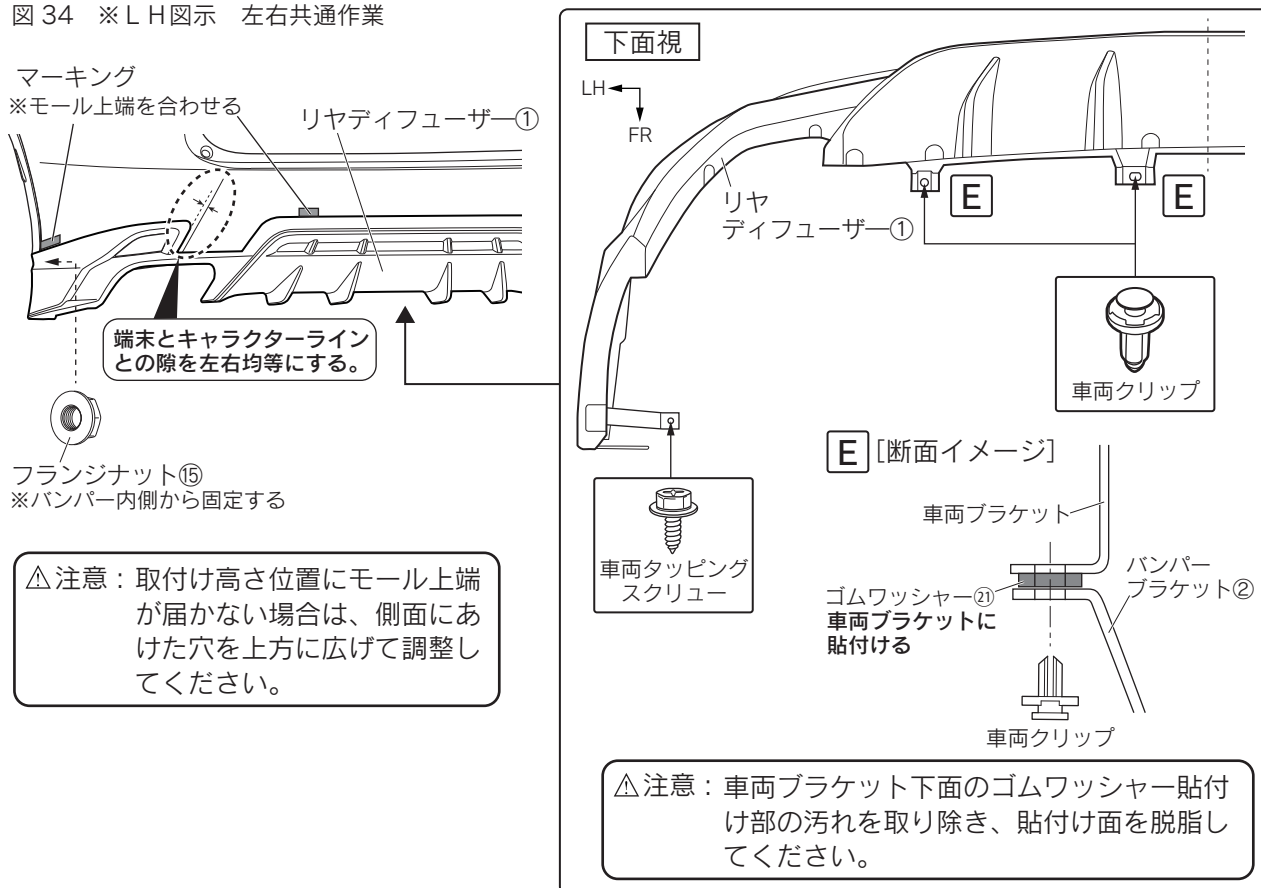
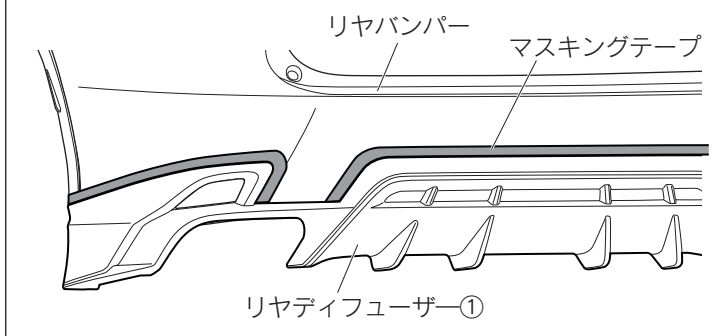


図 35 ※L H図示 左右共通作業

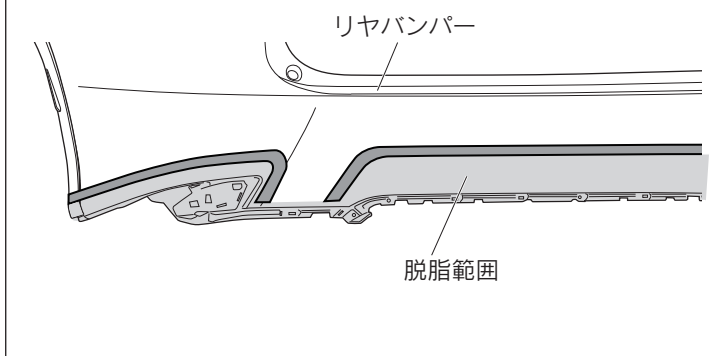


2. 図 35 のようにリアディフューザー①上端（モール貼付け部はモール上端）に合わせてマスキングテープを貼付ける。

△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

3. リアディフューザー①を取外す。

図 36 ※L H図示 左右共通作業

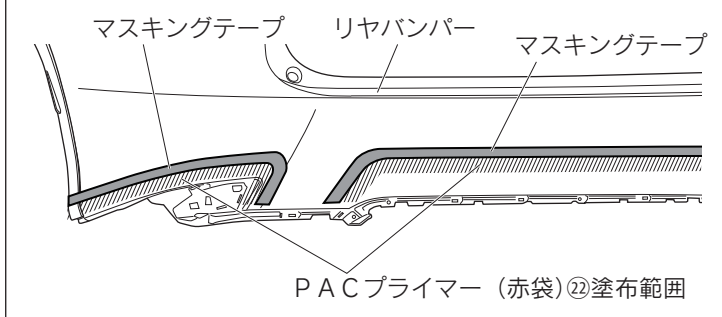


4. 図 36 のようにリアディフューザー①の両面テープ貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図 37 ※L H図示 左右共通作業



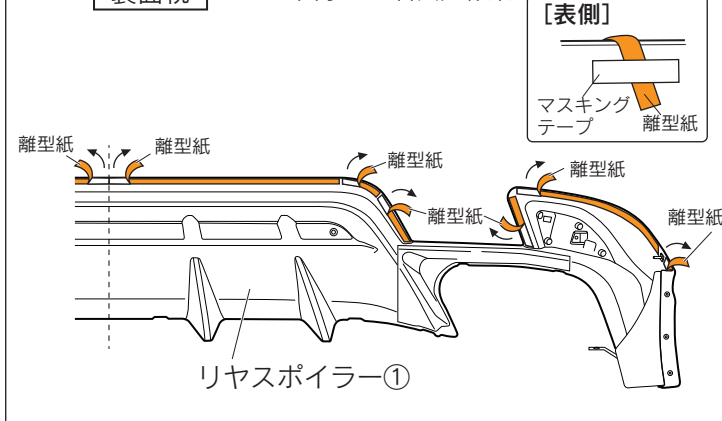
4. 図 37 のようにリアディフューザー①の両面テープ貼付け部貼付け部（左図斜線部）にPACプライマー（赤袋）②を塗布する。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

5. マスキングテープを剥がす。
※取付け高さマーキングは剥がさないでください。

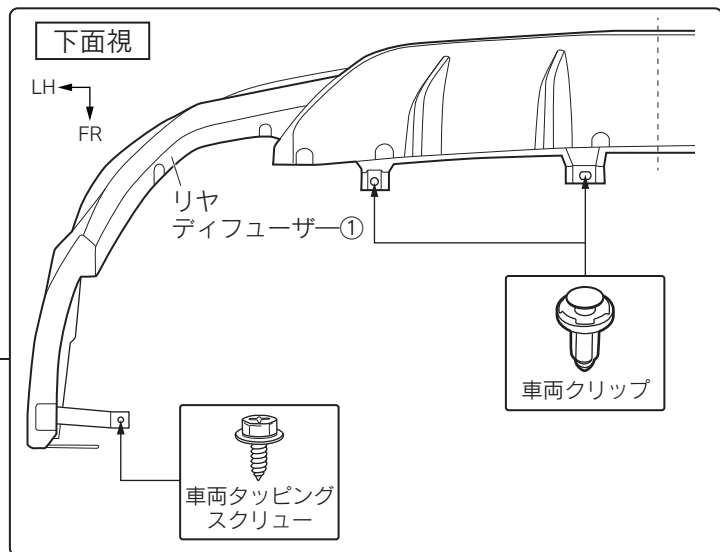
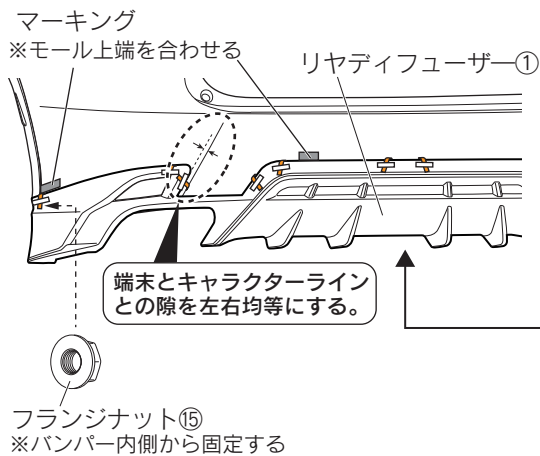
6. 図 38 のようにリアディフューザー①の両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30 mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。（左右各 6 箇所）

図 38 裏面視 ※L H図示 左右共通作業



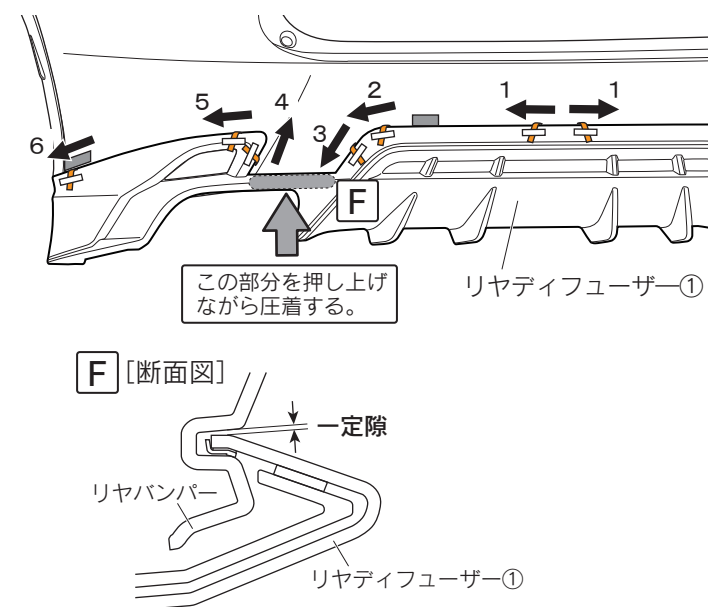
7. 図 39 のように取付け高さマーキングに合わせ、リヤディフューザー①をあて、側面をフランジナット⑮(左右各 1 箇所)、下面左右を車両タッピングスクリュー(左右各 1 箇所)、下面中央を車両クリップ(4 箇所)で仮固定する。

図 39 ※L H 図示 左右共通作業



△注意：取付け高さ位置にモール上端が届かない場合は、側面にあけた穴を上方に広げて調整してください。

図 40 ※L H 図示 左右共通作業



8. 図 40 のように取付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら圧着する。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。



アドバイス

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）をお取りください。



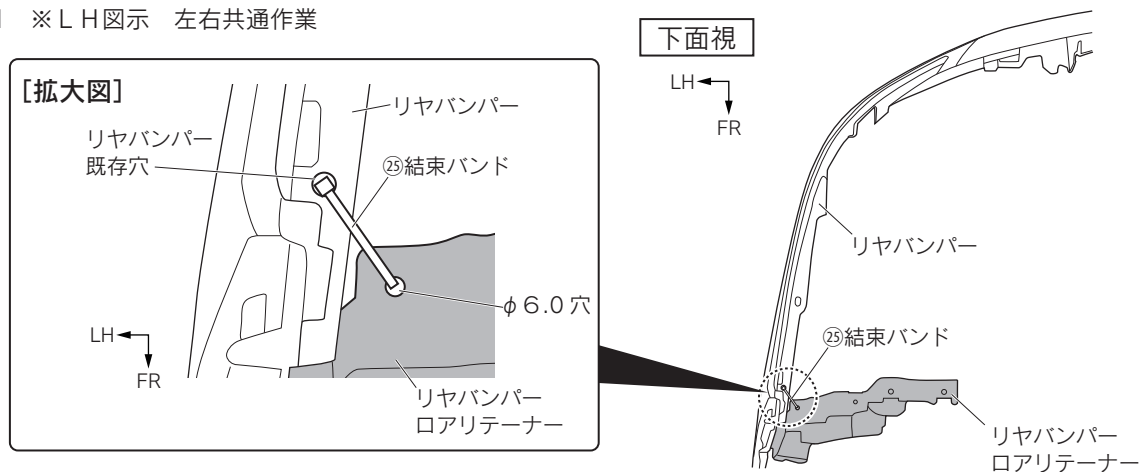
警告

両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

9. 取付け高さマーキングを剥がす。

10. 図 41 のようにリヤバンパーロアリテーナーのφ6.0 の穴とリヤバンパーの図示穴を㊹結束バンドで固定する。(左右各 1箇所)

図 41 ※LH図示 左右共通作業



※車両からリヤバンパーを取外す際は、結束バンドを取外してください。

11. リヤディフューザー①左右下面の車両タッピングスクリューを本締めする。

12. バッテリーのマイナス端子を接続する。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びリヤディフューザー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

TRD商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-2121

<https://www.trdparts.jp>